

すすんでまなぶ子 たすけあうやさしい子 げんきでたくましい子

自分から まなぶ！ おもいやる！ きたえる！

佐呂間町立佐呂間小学校



# 学校だより

令和7年10月2日 発行



## 1年の折り返し

校長 池田 潤

季節の風がいつの間にか涼しいから寒いに変わってきました。4月から6か月が過ぎ、1年の折り返し、本日から後期がスタートしました。

前期の終業式では、各学年の代表が「前期にがんばったこと、後期にがんばりたいこと」を発表しました。漢字のテストで100点をとれるように取り組んだことや運動会で1位になれるように練習したことなどそれぞれに目標に向かって頑張ったことを発表してくれました。子どもたちが目標を持ってがんばれたことも素晴らしいですが、発表した子たちの文章や言葉づかい、しっかりととした声に子どもたちの成長を感じました。

7月に保護者の皆様、子どもたちにアンケートを取らせていただき、それらをもとに全職員で前期の取組の反省と後期に向けての取組の方向性について検討しました。（次ページ参照）

令和7年度保護者アンケート、児童アンケート集計結果

<https://member-saroma-es.edumap.jp/distinctive-activities>



今年度の重点教育目標を「自分から まなぶ！ おもいやる！ きたえる！」とし、取り組んでまいりました。特に「自分から=主体性の育成」を重点として教育活動に取り組んできました。

その取組が少しずつ成果を出し始め、子どもたちが、「こうしたい！」「こうなりたい！」という思いを主体的な行動へと進化させ、自分から一步踏み出す子どもたちが増えました。

自分から動き出すためには、自分がどうしたいのか、どうなりたいのかじっくり考える時間が必要です。あわてず、まずは子どもたちが自己決定することから一つ一つ挑戦していくことをこれからも大切にしています。

我々教師もそうですが保護者の皆様にも、「信じているよ」「あなたなら大丈夫」と子どもの挑戦と成長を誰よりも信じ、応援するドリームサポーターになりたいですね。

### マラソン記録会 10月3日(金)

スタート 10:35 1・2年生 (1.1km)

10:40 5・6年生 (3.3km)

11:25 3・4年生 (2.2km)

今年度より学校敷地及び100年記念公園を周回するコースに変更になりました。

### 佐呂間町大収穫祭に…

10/5(日)に行われる収穫祭に、3年生は、来場者に自分たちで作った佐呂間町を紹介するパンフレットとともにミニカボチャをプレゼントします。6年生は販売されるかぼちゃのポンプづくりで協力しています。

すすんでまなぶ子 たすけあうやさしい子 げんきでたくましい子

自分から まなぶ！ おもいやる！ きたえる！

佐呂間町立佐呂間小学校

令和7年度前期 学校経営評価及び後期の方向性

### 【前期の成果】

前期は、教育目標、重点教育目標の具現化に向けて、多くの項目で目標を達成することができました。

- **学力の向上：**チャレンジテストの平均正答率がすべての学年で全道平均を上回りました。また、国語・算数の単元テストにおける各観点での到達度が60%未満の児童の割合も、昨年度より減少しています。
- **主体的な学び：**「自分の考えや思いを相手に伝えたり、発表することができた」と答えた児童の割合は88%と、目標の80%を上回りました。これは、授業中に意図的に自分の考えをノートに書いたり、発表の場を設定したことが効果的だったと考えます。
- **ICT活用：**ICTを活用した授業実施率は100%であり、各学級において教材提示や、子どもが思考・表現する場面で効果的に活用がされるよう工夫しています。
- **豊かな人間性：**「誰かが困っているときに進んで助けている」と答えた児童の割合は96%と、目標の90%を達成しました。また、「学校が安心できる場所」と答えた児童の割合も91%に達し、心理的安全性が確保されていることがわかります。
- **地域連携：**3年生から6年生まで、地域資源や人材を活用した学習活動を実施しました。

### 【前期の課題と今後の方向性】

多くの成果があった一方で、いくつかの課題も明らかになりました。後期は、これらの課題に重点的に取り組みます。

#### 1 家庭学習の習慣化

保護者アンケートでは「家庭学習の習慣が身についている」と回答した割合が64%にとどまり、児童の自己評価との乖離が見られました。

- **改善の方向性：**すべての子に家庭での習慣化が必要です。そして、宿題からの自学への変容を目指したい。家庭では、自分がやりたい学習、必要な学習に取り組む意識を高めたい。また、今後は、家庭学習の目安を時間だけでなく、ノートの見開きページ数などの「量」や、発達段階に応じた「質」へと視点を変え、児童や保護者が主体的に取り組めるような家庭学習のあり方を探ります。

#### 2 教職員の働き方

月45時間以上の時間外勤務がある職員が増加しており、教職員の負担が増大しています。また、教職員アンケートでは「学校の仕事が楽しい」と答えた職員が0%、「仕事にやりがいを感じる」と答えた職員も13%にとどまることが課題です。

- 改善の方向性：後期は、見通しを持ってやるべきことを精選し、計画や周知を徹底することで、突発的な業務を減らしていきます。また、職員の声をもとに、教職員が「楽しい」「やりがいを感じる」学校となるための改善を進めます。

### 3 小中一貫教育の推進

小中一貫教育の目的理解について、教職員の肯定的回答が54%と低い状況です。一部の職員に負担が偏っていることも課題です。

- 改善の方向性：後期は、改めて、小中連携教育について全職員への周知、共有を図ります。今後の取組や次年度の準備を明確にし、特定の職員に負担が集中しないように進めていきます。

### 4 算数の学力格差

算数の単元テストにおいて、思考力・判断力・表現力の観点で到達度が60%未満の児童が一部見られ、下位層の児童への対応が課題です。

- 改善の方向性：思考力・判断力・表現力については算数科に限らずすべての教科・領域で意図的に指導していく必要があります。単元内で“どの時間に”“どのような内容を使って”思考力・判断力・表現力を活用するかを意識した単元構成を行いたい。家庭学習の頻度や読書の習慣、学校生活の楽しさなど、様々な要因との相関関係を分析し、個別の支援策を検討していきます。

#### 【後期に向けて】

前期は、児童の学力や主体性、豊かな人間性といった面で大きな成果を上げることができました。

一方で、家庭学習の習慣化、教職員の負担軽減、小中一貫教育の推進といった課題も明確になりました。

今年度の重点教育目標「自分から まなぶ！ おもいやる！ きたえる！」の具現化を目指し、特に“自分から”を意識した活動が見られるようになってきました。

後期は、前期の課題に焦点を当て、子どもたちのより良い教育環境を創造するために、学校、家庭、そして地域が一体となって取り組んでまいります。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

佐呂間町立佐呂間小学校長 池 田 潤

すすんでまなぶ子 たすけあうやさしい子 げんきでたくましい子

自分から まなぶ！ おもいやる！ きたえる！

## 10月の行事予定

1	水	学期間休業日	16	木	フッ化物洗口
2	木	後期始業式 安全点検日	17	金	5時間授業（学校教育指導のため）
3	金	マラソン記録会 委員会活動	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	水産学習（6年）
6	月	視力検査（5・6年） 水産学習（4・5年）	21	火	
7	火	水曜日課 視力検査（3・4年） 就学時検診	22	水	英検 ESG（6年）
8	水	視力検査（1・2年）	23	木	フッ化物洗口
9	木	フッ化物洗口 マラソン記録会予備日	24	金	
10	金	クラブ活動 保育所交流（1年）	25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	全校朝会 スクールカウンセラー来校日
13	月	祝日（スポーツの日）	28	火	佐呂間中学生職場体験
14	火		29	水	
15	水	職員会議	30	木	フッ化物洗口
			31	金	

### 保小連携 1年生保育園交流



1年生が保育園に訪問し、来年1年生で入学てくる年長の皆さんと交流活動を行いました。これは、佐呂間町の保小連携の取組として行っているもので、保育園から小学校へ子供たちにとってスムーズなつながりを作るための取組です。年長の皆さんとかかりわりながら1年生はお兄さん、お姉さんになった姿を保育園の先生に見てもらいました。

### かぼちゃの収穫(3年生)



道の駅の畑に自分たちで苗を植え、育てたジャンボかぼちゃと小さいかぼちゃの収穫に行ってきました。かぼちゃの大きさと数の多さに子供たちは驚いていました。

